

道徳教育「校内研修パッケージ」



「考え、議論する道徳」の 実現に向けて

北海道教育庁学校教育局義務教育課

校内研修パッケージ コンテンツ

①新学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳科の授業

- ②道徳教育のカリキュラム・マネジメントの充実
- ③道徳科の特質を踏まえた授業改善
- ④道徳科の授業におけるICTの効果的な活用
- ⑤道徳科の評価の改善・充実

Contents①

新学習指導要領の 趣旨を踏まえた道徳科の授業

道徳科の授業は、道徳の時間と
どのような違いがあるのですか？



内 容

- 道徳科の目標
- 道徳科における主体的・対話的で深い学び

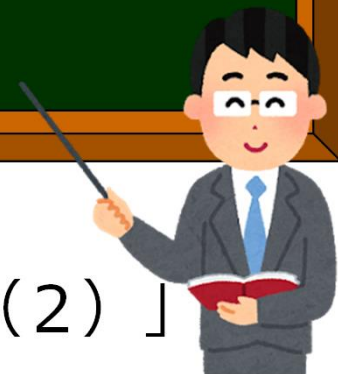
道徳科の目標

道徳科の目標

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

「小（中）学校学習指導要領 第1章 総則の第1の2（2）」



道徳科の目標

道徳科の目標

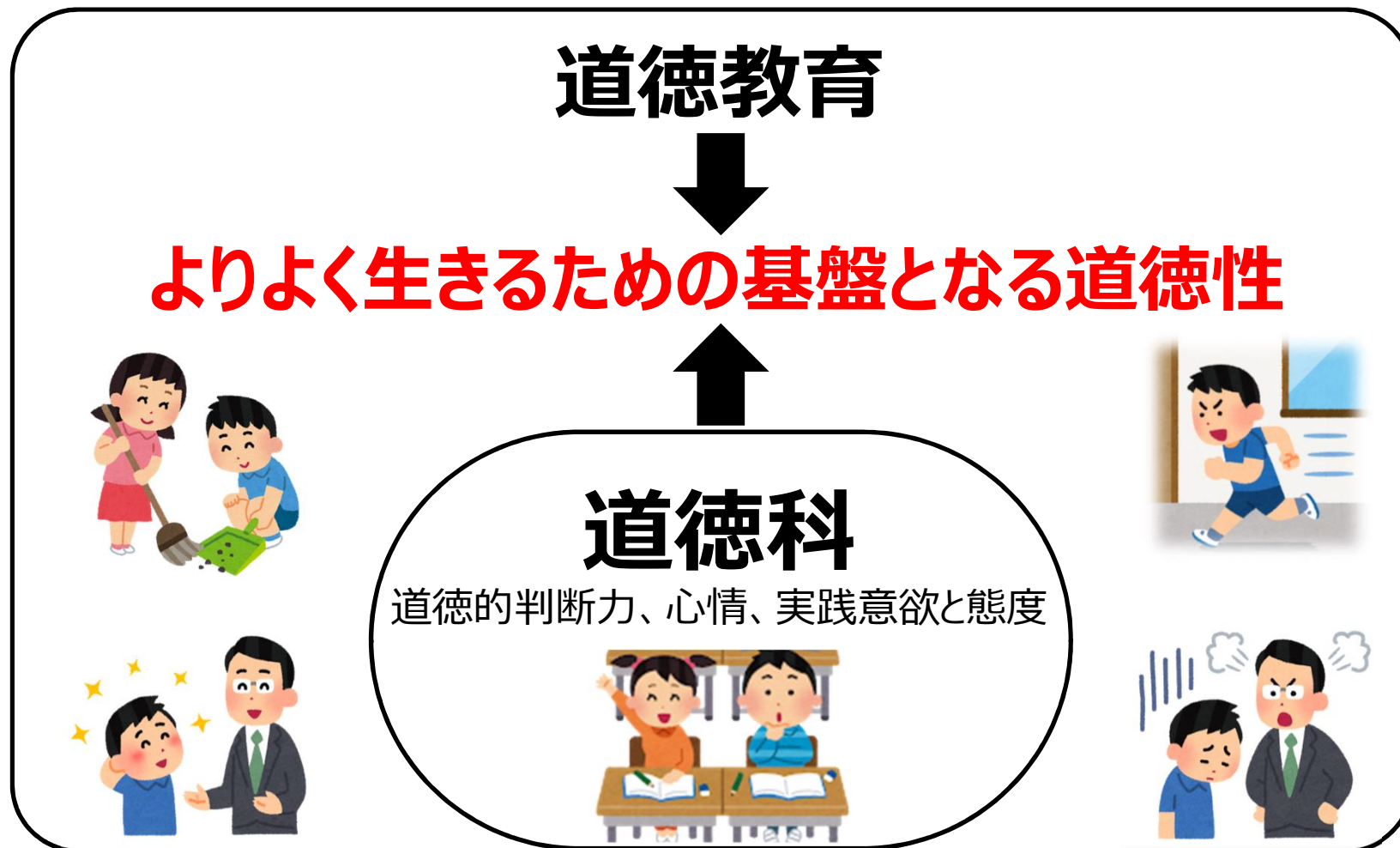
第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

「小（中）学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」
※（ ）は中学校の表記



道徳科の目標

道徳教育と道徳科の目標



道徳科の目標

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

「小（中）学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」
※（ ）は中学校の表記



道徳科の目標

道徳科の目標⇒道徳性を養う

道徳科の特質を生かした学習指導の展開

- 
- ①道徳的諸価値について理解する
 - ②自己を見つめる
 - ③物事を（広い視野から）多面的・多角的に考える
 - ④自己の（人間としての）生き方についての考えを深める

①道徳的諸価値について理解する

この内容項目は
大切だな。
よいものだな。



価値理解

この道徳的価値の
実現は難しいな。
できないこともあるよ。



人間理解

考え方や感じ方は
人によって違うのだな。
色々あるのだな。



他者理解

②自己を見つめる

自分がこの人と同じ
場面状況に置かれたら
どう考えるだろうか

自分の感じ方は
友だちと違うな
自分にはない
考え方だな



自己理解

③物事を（広い視野から）多面的・多角的に考える

例 宿題を忘れた友だちにノートを見せてあげるべきか

友 情

友だちだから
見せてあげる

友だちだから
こそ見せない

公正・公平

好きな人にだけ見
せるのはフェアじゃ
ない

誠 実

うそに荷担するこ
とになるからだめ

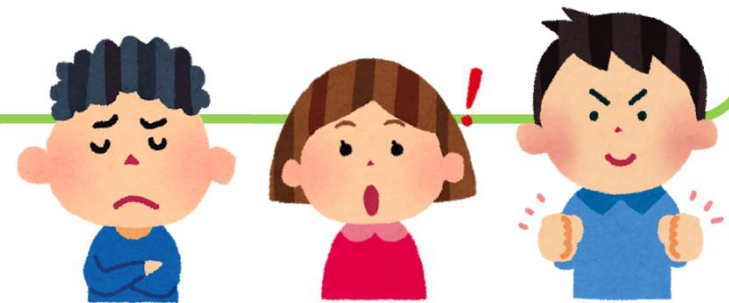


何を優先させるか
答えが一つではない問題

方法を選ばせるのではなく方法
の**根拠**になっている道徳的価値
について考えを深めさせる

④自己の（人間としての）生き方についての考えを深める

- ・今までの自分は、こういうことを考えずに過ごしていたな。
- ・道徳的価値のよさは、わかった。自分に生かしていければいいな。
- ・自分のよさや至らなさについて考えられたな。
さっそく実践していくぞ。



一人一人が、自分の生き方を考えることが大事。
性急に態度の変化や心の変容を押し付けない。

道徳科の目標

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

「小（中）学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」
※（ ）は中学校の表記



道徳科の目標

道徳的判断力

それぞれの場面で
善悪を判断する能力



道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

道徳的实践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き



道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行動への身構え

道徳性の諸様相 = **内面的資質**

道徳科における
主体的・対話的で深い学び

道徳科における主体的・対話的で深い学び

これまでの道徳の時間の授業の課題

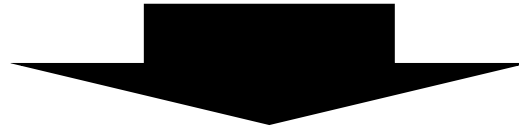
- ・主題やねらいの設定が不十分な、単なる生活体験の話合いの指導
- ・読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導
- ・望ましいと分かっていることを言わせたり、書かせたりすることに終始する指導

道徳科における主体的・対話的で深い学び

これからの道徳科の授業

「主体的・対話的で深い学び」

道徳科の目標の中に示された学習活動を目指す



道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、
物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、
自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習

※（ ）は中学校の表記

道徳科における主体的・対話的で深い学び

「主体的な学び」の視点

- ・問題意識をもつ
- ・自分自身との関わりで考える
- ・自らを振り返る 等



道徳科における主体的・対話的で深い学び

「対話的な学び」の視点

- ・協働し、対話する
- ・多面的・多角的に考える
- ・学級経営の充実を図る 等



道徳科における主体的・対話的で深い学び

考え

「主体的な学び」

「対話的な学び」

議論
する

自分との関わりで捉え 多面的・多角的に考える

教師の明確な意図

↓
「深い学び」

道徳科における主体的・対話的で深い学び

主体的な学び

子どもたちが真剣に考えること



対話的な学び

子どもたちが共に語り合うこと



深い学び

教師が指導の明確な意図をもつこと

